

腸内細菌に関する研究について説明する  
山田講師



## 腸内細菌の研究紹介

### 弘大が講師招き講演会

弘前大学と県、民間企業が連携して脳卒中や認知症の早期予兆発見、予防法開発に取り組みプロジェクトの研究拠点「COI拠点研究推進機構」事業の環境として、弘大は15日、同大学院医学研究科で特別講演会を開いた。

東京工業大学大学院生命理工学研究所の山田拓司講師が「腸内細菌研究の最前線」と題して講演した。

山田講師は、肥満や糖尿病に関係していると考えられる腸内細菌について研究しており、腸内細菌の代謝経路に関する論文のデータベース構築などに取り組んでいる。

また、山田講師は日本人腸内環境の全容解明とその産業応用プラットフォーム「JCHM」のプロジェクトリーダーも務めており、プロジェクトの一環として、腸内環境関係のシンポジウム開催や学生会員による腸内細菌のボードゲーム開発などさまざまな活動が展開されていることを紹介した。

（成田真矢）